



平成18年4月28日

各位

東京都新宿区揚場町2番1号  
大興電子通信株式会社  
代表取締役社長 山本泰久  
(コード番号8023 東証第二部)

問合せ先  
取締役管理本部長 真下宏明  
(TEL03-3266-8111)

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成17年5月19日に公表いたしました平成18年3月期（平成17年4月1日～平成18年3月31日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 記

1. 平成18年3月期連結業績予想数値の修正（平成17年4月1日～平成18年3月31日）  
(金額の単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成17年5月19日発表)	40,200	400	280
今回修正予想 (B)	41,376	191	290
増減額 (B - A)	1,176	209	10
増減率 (%)	2.9%	52.3%	3.6%
前期(平成17年3月期)実績	39,821	632	1,530

2. 平成18年3月期個別業績予想数値の修正（平成17年4月1日～平成18年3月31日）  
(金額の単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成17年5月19日発表)	40,000	300	220
今回修正予想 (B)	41,036	100	248
増減額 (B - A)	1,036	200	28
増減率 (%)	2.6%	66.7%	12.7%
前期(平成17年3月期)実績	39,618	687	1,553

### 3. 個別業績修正の理由

当期は、ソフトウェアサービスの売上が堅調であったことに加えて、情報通信機器の売上も順調に推移し、売上高410億円（前期比102.6%）と前回発表の見通しを上回る見込みであります。

経常利益は、増収による粗利益の改善および経費削減に努めた結果1億円と黒字転換を果たしましたが、保守サービスにおいて保守料の低下や保守契約の解約等の影響があったため、前回発表の見通しを下回る見込みであります。

また、特別利益として投資有価証券売却益651百万円を計上いたしました。

当期純利益におきましては、法人税、住民税および事業税184百万円、法人税等調整額として繰延税金資産取崩額331百万円を計上した結果、248百万円となり前回発表の見通しを上回る見込みとなりました。

### 4. 連結業績修正の理由

連結業績につきましては、主として個別業績予想の修正の影響によるものであり、連結子会社、持分法適用会社の通期業績を基に見直した結果、経常利益につきましては前回発表の見通しを下回る見込みとなりました。

以 上